

2019年4月4日

## 独自のAI技術を用いて企業の課題解決策を提供する 株式会社 Ridge-i（リッジアイ）への出資について

- ・独自のAI技術によって、プラントや重工業をはじめとした産業にも適応
- ・日本のベンチャー企業としていち早く宇宙産業のデータ解析市場に参入
- ・第四次産業革命の実現に向けて、AIの導入を推進し、新しい市場を創出

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、株式会社 Ridge-i（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳原尚史、以下 Ridge-i）に対し、同社の事業展開を推進するための成長資金として、5.5億円を上限とする出資を行うことを決定しました。また、INCJに加えて、株式会社荏原製作所、株式会社リコーも同社への出資を行い、Ridge-iの資金調達総額は7.5億円を予定しています。

Ridge-iは、企業が持つビジネス上の課題に対し、AIの活用に向けたコンサルテーションを行うとともに、最先端のAI関連技術や解析手法を独自に研究開発し、課題解決のためのソリューションを提供するベンチャー企業です。特に、Ridge-iは、従来の画像解析技術に加え、仮想的に生成した学習データの活用や、点群データ・三次元データ・時系列データなどの特殊なデータを加味することにより、これまでAIの利活用が進まなかった領域へのAIの導入を可能にしました。そのため、プラントや重工業など、学習用の大量の画像データの取得が困難であったり、静止画だけではなく動画での分析が必要とされる特殊な業務環境におけるAI活用のニーズにも対応することが可能です。

例えば、ごみ焼却施設では、燃焼の安定化のために熟練の運転員が視覚的にごみの性状を判別していますが、今後の労働力不足や労働者の高齢化を見据え、機械への代替による自動化が求められています。このようなビジネス課題に対し、Ridge-iでは、熟練運転員の眼に代わってごみピット内のごみの状況を判断する「ゴミ識別AI」をプラント会社と共同で開発し、既の実証実験を経て運用が開始されています。

また、Ridge-iは、機械学習やディープラーニング技術と独自の解析手法を組み合わせ、宇宙産業の成長を促す衛星データ解析市場にも参入し実績を上げることで、市場の創出・拡大を図っています。衛星データは、大規模自然災害の予測や精密農業の効率化、漁場特定の高精度化など、インフラ監視から一次産業、金融等の領域まで幅広く利活用されることが期待されており、その市場は、2030年代早期には1,000億円規模にまで拡大すると予測されています。

第四次産業革命において、情報通信産業や自動車・製造業など、ICT の活用が拡大する産業がある一方で、プラントや重工業など導入が十分に進んでいない領域の産業も存在しています。Ridge-i が提供する AI ソリューションは、これらの領域の産業における ICT 活用を推進するとともに、宇宙産業における衛星画像解析や放送産業におけるデジタル彩色技術など様々な領域においても新たな付加価値の創出が期待されています。また、INCJ では、AI・IoT・ビッグデータ、宇宙ビジネス、ロボット、健康・医療・介護、素材化学を重点領域として投資活動を進めており、AI および宇宙ビジネスで事業を加速させている Ridge-i の事業領域とも合致しています。INCJ は新たな事業展開のための成長資金を支援するとともに、Ridge-i と既投資先ポートフォリオや事業会社等との連携を支援することでオープンイノベーションの推進にも寄与します。

#### **株式会社 Ridge-i (リッジアイ) について**

設 立 : 2016 年 7 月  
本 社 : 東京都千代田区  
代表者 : 代表取締役社長 柳原 尚史  
事業内容 : AI コンサルティングおよびソリューション開発  
URL : <https://ridge-i.com/>

#### **株式会社 INCJ について**

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井  
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階  
電 話 : 03-5218-7202

## 【別紙】

### 新規支援決定案件の概要

#### 1. 対象事業者

- ・事業者名：株式会社 Ridge-i
- ・設立：2016年7月
- ・所在地：東京都千代田区
- ・代表者：代表取締役社長 柳原 尚史
- ・事業内容：AIコンサルティングおよびソリューション開発

#### 2. 支援決定内容

- ・支援決定金額：5.5億円（上限）
- ・共同投資家：株式会社荏原製作所、株式会社リコー
- ・株式保有割合：非公表
- ・投資ストラクチャー図：別紙

#### 3. 投資意義

##### <社会ニーズへの対応>

- ・情報産業や製造業等の産業などでAIの活用が推進される一方、AI導入が進んでいないプラントや重工業などの産業も存在する。Ridge-iはそのような産業に対して、豊富なAI導入実績を有し、Industry4.0を支える存在となりうる。
- ・Ridge-iは日本のベンチャー企業としていち早く、宇宙産業における衛星データの活用事業にも参入。

##### <成長性>

- ・Ridge-iの独自のAI技術によって、これまでAIの導入が進まなかった産業にも導入が進み、新たな市場を創造できる可能性がある。
- ・今後、衛星データ利活用市場の大幅な拡大が見込まれ、衛星画像解析技術がより付加価値の高い事業へと成長する見込みがある。

##### <革新性>

- ・各企業が置かれた環境特有の特殊なデータを加味することにより、プラントや重工業などの十分な画像収集が困難な業務環境においても、企業のニーズに対応することが可能。
- ・難易度が高い衛星データを解析する実績を有し、今後、業界のスタンダードになる可能性も期待される。

投資対象：株式会社Ridge-i(リッジアイ)

事業内容：プラント等のレガシー系産業や宇宙領域等へのAIソリューションの提供

支援決定金額：5.5億円(上限)

支援決定公表日：2019年4月4日



- 仮想的に生成した学習データの活用や、点群データ・三次元データなど特殊なデータの分析ノウハウによりAI適用範囲を拡大。環境依存が強いプラントや重工業をはじめとした産業におけるAIの活用を支援。
- 衛星レーダ画像など宇宙領域のデータもAIで解析し、宇宙産業の活性化に寄与。